



包装機械（バンドシーラ）造り一筋 ～ものづくりに込めた思いを大切に～

キムラシール株式会社
代表取締役 木村彰宏

キムラシールは1992年の創業以来、一貫して包装機械の製造・販売に取り組んできた専門メーカーです。当社の包装機械は食品、医薬品等が入っている袋をベルトで挟んで移動させながら溶着させる「バンドシーラ」です。

「包装はきれいに見せて売るもので、そんなものは必要ない」という人もいますが「もし包装がなかったら」を考えたとき、包装の重要さが見えてきます。包装には、まず中身の商品を損傷なく扱うための保護機能に加えて、販売促進のための情報伝達性等の機能も必要とされており。当社は、これらを考慮しつつ、シンプルな包装を目指し、お客様に満足していただけるものづくりを



目指して日々精進しております。

海外で“日本のものづくり力”が注目されていることは皆様承知の通りです。これからは日本の伝統や技術を守りつつさらなる発展を目指すために、国内はもとより、‘海外のものづくり’にも目を向けその様々な良さを取り入れ、活かして行きたいと考えております。

最後に、生産者の思いが込められた大切な製品を、損傷なく衛生的に消費者へ届ける保護機能が包装の命です。この包装機械の製造販売を通じて、我々のものづくりに込めた思いが、人に伝わり、感謝される。これこそが、“ものづくりの醍醐味である”と考えます。その「心」を大切にさせていただきます。



キムラシール株式会社

〒665-0022 兵庫県宝塚市野上6丁目9番7号
TEL：0797-77-7091～3
FAX：0797-77-7094
<http://www.kimuraseal.co.jp/>

ATAC ひと言

ダンロップスポーツ株式会社市島工場（丹波市市島町）見学記

ATACでは年に1～2回地元の企業を見学し、ものづくり技術の勉強に役立てています。

2014年8月8日にATACメンバー5名で兵庫県丹波市のダンロップスポーツ株式会社市島工場を見学しました。

同社は、1930年神戸工場において国産初のゴルフボールと硬式テニスボールの生産を開始した、ゴルフボール生産の老舗です。2003年に住友ゴム工業のスポーツ事業部門が分社独立、主にゴルフ用品、テニス用品の製造および販売を行っています。1995年阪神淡路大地震によって神戸工場が被災し、丹波市の市島町に移転しました。

市島はJR福知山から福知山線を篠山口に向かって2駅、自然の豊かなところで、田んぼを囲むように入り組む低い山々の一角に市島工場が在ります。

以前のゴルフボールは中心のコア部分に糸ゴムを巻き、外側のカバーを硬い樹脂で覆っていましたが、現在ではコア部分は主に球状の合成ゴムで出来ています。コ

ア部分とカバー部分の2層構造にしたものをツーピースボール、コアとカバーの間にミッド（中間）層を入れて3層構造にしたものをスリーピースボール、性能・用途に応じてフォーピースボールまで有ります。

次に工場を見学しました。材料の配合、計量押出、ボール型製作（カバー・ディンプル形成）、印字・検査・梱包まで一貫生産しています。この工場では、2005年に埋め立て廃棄物をゼロにして「完全ゼロエミッション」を達成、自然豊かな風景に馴染んでいると感じました。

工場見学後には、工場横に設けられたゴルフ科学センターで実打テストを体験しました。（写真）飛距離、ボールの初期条件、打撃音などを計測解析し、打者のスイング解析も行い、ボール・クラブの設計開発に役立てています。

今回は華やかなゴルフトーナメントを支えるゴルフボール工場を見学でき、市島工場の皆様に感謝しております。

（野村）

